

	(特集)	
英	語	の
	語	彙

指導に役立つ語彙リスト紹介



中條清美

語彙指導は「基本語彙」と「専門語彙」という2種類の語彙リストで対応すると効率的であると言われます。「基本語彙」とは、「どの分野にも広く出現する語彙」,「専門語彙」は「ある特定の専門分野に顕著に多く現れる語彙」のことです。

一般的に2,000-3,000語程度の基本語彙を学習した後,学習者の興味や学習目的に応じてある特定分野の専門語彙を指導すると学習効率が高まると言われます。高校では,2種類の語彙のうちおもに「基本語彙」を身につけることに重点が置かれることが多いので,本稿では,高校の英語教育に役立つ基本語彙リストを中心に紹介します。

基本語彙リストの作成には2つの方法があります。ひとつは,実際に書かれたり話されたテキストを広範囲の分野から大量に集めた British National Corpus (BNC・1億語)のようなコーパスから出現頻度の高い語彙を選定するというもので,最も一般的な方法です。

一方,中・高の学習者は将来どの方面に進むかわからないため,英語教科書には「どの分野にも役立つ」と思われる語彙が使用されています。したがって,英語教科書を分析した語彙リストも一種の基本語彙と言えます。また,教科書を通して学習者が習得する語彙を知るとは効果的な語彙指導に必要不可欠です。

以下では,基本語彙リストを中心に,Webから入手し易く,指導や教材作成にすぐに使えるという観点から,1)大規模コーパスに基づく語彙リスト,2)教科書コーパスに基づく語彙リスト,3)その他多様な語彙リストを紹介します。

■大規模コーパスに基づく語彙リスト

次の①から④は大規模コーパスに独自の処理を施して作成されたものです。どの語彙リストも利用し易いように「英文の語彙レベルチェック」機能が付いています。先生方が作られた教材やテストの英文テキストを貼り付けて送信すると,それぞれの語彙リストに基づいて1,000語単位で各単語や英文の語彙レベル(難易度)を知ることができます。たとえば2009年度センター試験の語彙の95%はBNCの上位3,000語でカバーできることなどがわかります。

①JACET8000

大学英語教育学会基本語改訂委員会がBNCをもとに「日本の英語教育の現状を配慮して」選定した8,000語です。JACET 8000 LEVEL MARKER (<http://www01.tcp-ip.or.jp/~shin/J8LevelMarker/j8lm.cgi>)を利用すると各単語のレベルを8段階に分けることができます。

②SVL12000(標準語彙水準12000)

出版社のアルクがBNCから,日本人学習者にとっての有用性や重要性を考慮して選定した12,000語です(http://www.alc.co.jp/goi/PW_top_all.htm)。Word Level Checkerというプログラムが染谷泰正氏のページ(<http://www.cl.aoyama.ac.jp/english/newSite/wlc/index.html>)より使用可能です。

③BNC-20

P. Nation と T. Cobb が作成したBNCの頻度上位20,000語です。T. Cobb の VocabProfile (<http://www.lex tutor.ca/vp/bnc/>)を使うと語

彙レベルを判定することができます。

④GSL (General Service List) と AWL (Academic Word List)

GSL は英語の教授・学習のために選定された最も普遍性があるとされる2,000語です (West, 1953)。AWL は A. Coxhead が学術文献コーパスに頻出した570語を選定したもので、大学生が一般教養科目を理解するために必要な基本語彙を選定しています。最初に GSL の2,000語を、次に AWL の570語を学習するという語彙指導法が広く知られています。また両者を利用した P. Nation の語彙レベルチェックプログラム Range (<http://www.victoria.ac.nz/lals/staff/paul-nation/nation.aspx>) は世界中で使われています。

■学校英語教科書に基づく語彙リスト

⑤小学校関連の語彙リスト

新学習指導要領に合わせて2008年に公表された「英語ノート (試作版)」の語彙のリストと、「英語ノート」が公表される以前に教科書会社から小学校英語活動用に作られたテキスト5シリーズに使用された語彙のリストが筆者のホームページの「教育・研究資料 (<http://www5d.biglobe.ne.jp/~chujo/>)」よりダウンロードできます。

⑥中英研究部の中学校教科書語彙リスト

東京都中学校英語教育研究会の研究部で、「語いと英語教育」に関する研究実践の一環として、平成14年度から平成18年度に使われている教科書の全ての使用語彙が提供されています。簡単な登録でダウンロード (<http://www.eigo.org/kenkyu/>) できます。

⑦高校教科書の語彙リスト

2006年度版高校英語教科書35シリーズ95冊の使用語彙リストが個々の教科書シリーズの詳細な語彙数、語彙レベルとともに筆者ホームページ (<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~chujo/data/koukoutext.pdf>) より利用できます。

⑧大学入試の語彙リスト

難関大学の入試には中・高の教科書語彙だけでは十分といえないため、『ジーニアス英単語2200』などの入試頻出英単語の語彙を補完する必要があります。2008年度に出題された難関大学入試とセンター試験の語彙リストを筆者ホームページ (<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~chujo/>) で利用できます。

■多様な語彙リスト

⑨理科系の語彙

COCET3300 は全国高等専門学校英語教育学会が精選した「理工系学生にとっての必修英単語3300語」です。書籍版のほか、これらを収録した英単語学習オンライン教材「英語語彙学習システム COCET3300」 (<http://cocet.code.u-air.ac.jp/>) が利用可能です。

⑩ESL 教育用語彙リスト

指導に役立ちそうな Web 上の語彙リストのサイトとして ESL:Vocabulary:Lists があり、160を超える語彙リストのリンク (<http://iteslj.org/links/ESL/Vocabulary/Lists/>) が付いています。

最後に、これらの語彙リストを利用する際の注意点として、見出し語の基準が、lemma か word-family のどちらを単位として作成されているかを考慮する必要があります。例えば、happy という見出し語には前者では happier, happiest という変化形が含まれ、後者ではさらに happiness, unhappy などの派生形も含まれます。③と④は word-family リストで、その他は lemma リストです。たとえば③の付属プログラムを使えば、2009年度のセンター試験に出た語彙の種類数は lemma で1,167語、word-family で860語となることがわかります。

以上、こうしたリストを活用して効果的な語彙指導を図っていくことが大切だと考えます。

(ちゅうじょう きよみ・日本大学生産工学部准教授)